

# 文 PTA だより

第 57 号

2013.7.26

島根県立島根中央高等学校  
島根中央高等学校PTA広報委員会

「今」を大切に  
しましょう！

島根中央高等学校 PTA 会長

和田 隆 行



青く澄みき  
った空に、ま  
るで躍動する  
かのように湧  
き上がる積乱

雲入道雲・・・ 突き刺す程に

眩い太陽の光・・・ やわらかな  
桜色と新緑の中でスタートし  
た新年度も季節は巡り、今や夏  
色本番・・・

連日異常な猛暑が続いており  
ますが、会員の皆様いかがお過  
ごしでしょうか？

皆様には、平素より PTA 活  
動に多大なるご支援とご協力を  
頂き厚く御礼申し上げます。

今年度 PTA 会長を務めさせ  
て頂きます美郷町の和田隆行と  
申します。過年度、副会長とし  
て役員を務めさせて頂いた経験  
はあるものの、会長職は、大変  
重責であり身の引き締まる思い  
をしております。

さて、小学校・中学校での各  
PTA を経験された会員の皆様は、  
高校での PTA 活動というもの  
をどのように捉えておられます  
でしょうか？

揺れ動く思春期の子供達の将来  
への不安や期待は相当なもの  
があるように思います。

私達、高校での PTA の役割

とは、大人社会への入り口に立  
つ子供達の良き理解者・人生の  
先輩としての相談役・もちろん  
保護者や教師としての立ち位置  
の違いはありますが、子供達の  
健全な生活や自主性・自立性・  
協調性を育て支える事が必要で  
はないかと考えます。

子供達が、高校生活をおし  
て将来への夢と希望を抱き、実  
現に向けて、また社会人として  
自立し活躍できる基盤づくりを、  
地域や学校と連携して押し進め  
る事が、PTA としての責務だ  
と考えます。また同時に、私達  
PTA は、特に保護者としては、  
子供達の成長とおして、いろ  
いろな事を学びながら日々進  
化を続ける事が必要不可欠な事  
と思います。親も子も、先生方も  
常に変化を恐れずに突き進む勇  
気を持つ事が、次のステージに  
進む第一歩となる事でしょう。

今年度の PTA 行事も粛々と  
現在進行しておりますが、慣例  
として年中行事を消化するだけ  
では進歩がありません。

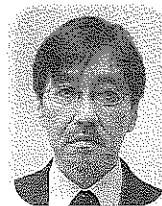
私達 PTA 役員としては、会  
員の皆様と一緒に、活動  
を実感出来る、共有出来る環境  
づくりを目指しております。P  
TA として活動出来るのも、子  
供達が在学している「今」なの  
です。「今」を大切にもつとも  
っと楽しもうではありませんか？



村上春樹コレクション

島根中央高等学校教頭

岩町 暁



「好きな作家  
は誰ですか？」  
と問われた場  
合、大抵は村  
上春樹と答え

るようにしている。  
落ち込んでいるときには別の  
作家、例えば吉行淳之介などと  
答える場合があるのだが、通常  
の精神状態であれば、村上春樹  
と答えている。

村上春樹体験は大学の二回生  
の時から始まった。友人から借  
りた『風の歌を聴け』を読んだ  
のが最初だった。一九七九年の  
ことである。「何だこれ」が読  
後最初の印象であった。何だか  
知らないけどドラマがない、英  
語を翻訳したような奇妙な文体、  
Tシャツのイラストまで入って  
いる。こんなものが本に『群像』  
の新人賞を取ったのか。小説らし  
きものを書き始めていた僕に  
とってそれは大きな衝撃であった。

『1973年のピンボール』  
が出版されたのは大学三回生の  
時だった。今は無き三条河原町  
の「駸々堂」（しんしんどう）  
で購入した。とにかく、僕はむ  
さばるようにその作品を読んだ。  
多分、一〇〇回以上（二〇〇回  
はいうっていないような気がする

のだが・・・）は読んだと思う。  
全文を暗記してやろうと思つて、  
三日かけて一字一句を確認する  
ように読んだこともあったと記  
憶している。今から思えば全文  
を暗記することなんてどだい無  
理な話ではあるのだが、その時  
はかなり本気だった。伊藤整が『あ  
る詩人の肖像』という作品のな  
かで、志賀直哉の作品の全文を  
書き写してみたという話を読ん  
でいたからか、そんなことを思  
い立つたのかも知れない。この  
作品は二年後に文庫本になるの  
だが、僕は二十冊を購入し、居  
酒屋で見知らぬ人々に配つて回  
った。どうかしていたとしか言  
いようがない。本を薦められた  
人はさぞかし迷惑であつたろう。

ストーリーは『風の歌を聴け』  
の続編。ジェイズ・バーでただ  
ひたすらビールを飲む「鼠」と  
友人と二人で翻訳会社を始め、  
双子の女の子と暮らし、カント  
の『純粋理性批判』を毎晩ベッ  
トのなかで読む「僕」の物語。  
そしてある日突然、3フリッパ  
ーのピンボールが「僕」を捕ら  
える。一方「鼠」はジェイズ・  
バーに別れを告げ、街を出て行く。  
ただそれだけの話だ。リアリテ  
ィーなど何も感じることはない、  
単なる出鱈目な話である。

何故この作品がそんなにもそ  
の当時の僕をとらえたのか。今  
となつては不思議であるとしか  
言いようがない。大学を卒業し、  
何をすべきか、何も考えていな  
かった僕と「鼠」とが重なつて

いたのかも知れない。そう思う。村上春樹がエッセイなどで触れていた作品は可能な限り読み漁った。アメリカの作家たち、純文学からファンタジー、SFまで。彼が好きだと言うから、レイモンド・チャンドラーやロス・マクドナルド、ダシール・ハメットなどのハードボイルド探偵小説まで読んだと記憶している。

そして、僕は村上春樹をコレクションするようになった。あくまでもコレクションである。全ての作品を集めている、しかも、初版本をである。もうおわかりであろうと思うが、コレクションの全てを読んでいるわけではない。特に長編小説は読んでいない。なぜなら村上春樹のすばらしさはその短編にあると思っ

一、好きな作品はと尋ねられると『街と、その不確かな壁』と答える。

さて、本校の図書室には村上春樹の作品四十九冊が蔵書されている。もちろん『1973年のピンボール』も。しかし、『街と、その不確かな壁』はないのだという。

もしも、『街と、その不確かな壁』を読んでみたくなったら、僕を訪ねてみてください。



### 平成二十五年年度 第一回PTA 評議員会開催

四月三十日(金)

・総会に先立ち四月末日に評議員会を開催いたしました。ここでは、五月に開催予定の総会に提案されるすべての協議事項について話し合いました。その他、各委員会の新年度の活動内容を委員会別に集まり協議しました。各委員会の計画は次のとおりです。

#### ・研修委員会

①年間をとおして複数回研修会及び座談会を開催する。

#### ・生活指導委員会

①夏祭りのパトロールを行う。  
②奉仕作業を計画する。

#### ・広報委員会

①年三回のPTAだよりを発行する。  
②PTAだよりの愛称名を募集して選定する。

#### 委員会構成メンバー

#### ●研修委員会

委員長	櫻本博志
副委員長	坂根めぐみ
担当副委員長	岩崎優子
委員	山口 龍 原田亮二 岡田元輔 岩井康雄 茶谷 健 小田奈穂子 重富博保 山根拓詩 山本至夫 宅和明美
学校担当者	

#### ●生活指導委員会

委員長	本山則幸
副委員長	左田野 晃 杉 谷 忠
担当副委員長	中島健蔵
委員	畠田米里子 天野清子 左田野美穂 岡本忠康 池田 学 藤田孝子 中田俊幸 山本みどり 小岩玲奈 今岡裕一
学校担当者	

#### ●広報委員会

委員長	長田 広
副委員長	古村晃淳 梶 弘幸
担当副委員長	吉川千佐子
委員	三好正師 大石 勲 佐々木恵子 福田良司 佐藤 司 苑谷明生 石田伸一 松直 仁 依 芳徳 山本至夫
学校担当者	

### 平成二十五年年度 PTA総会開催

五月十一日(土)

・PTA総会は昨年度事業報告および決算報告があり、すべて承認されました。続いて新年度の役員が承認されました。その中で、宇山廣繁会長が二年間の会長の任を終えられました。退任にあたり、これまで支えていただいた皆様に対して、感謝の言葉を述べられ、今後の島根中央高校の発展を祈念いたしますと結ばれました。また、二年間の会長職に対して県高P連から感謝状が贈られることを総務部長から発表がありました。宇山会長様、本当にありがとうございました。

さて、この後は、和田隆行新会長が会長に就任されました。新会長は、PTA活動に多くの保護者の皆様が積極的に参加できるような仕組みを構築したいと述べられました。

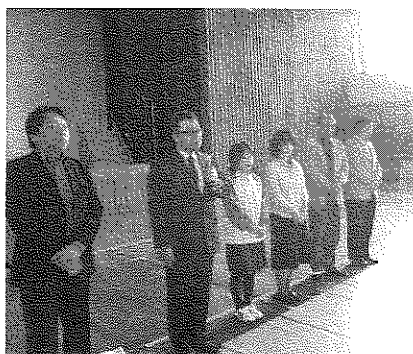
続いて、新会長の進行により、新年度事業および予算案について審議されました。各委員会活動費が盛り込まれた予算案および事業計画が承認されました。今後、平成二十五年度の活発なPTA活動が展開されることが期待されることです。

#### 平成25年度PTA新役員

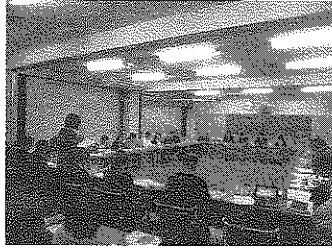
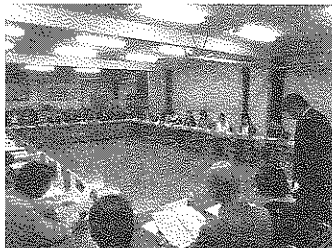
会長	和田隆行
副会長	中島健蔵
岩崎優子	
吉川千佐子	
高見敏彦	
長田 広	
井下 慈	
本山則幸	
監事	



旧役員退任のあいさつ



新役員就任のあいさつ



上:高見敏彦新校長あいさつ  
中:協議中  
下:委員会別協議会

# 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会に参加して

七月十二日(金)

PTA副会長 吉川千佐子

四日前に梅雨明けをしたばかりの、去る七月十二日、第五十五回中国、四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会が松江市で開催され、参加しました

折しも今年は、六十年に一度の出雲大社平成の大遷宮の年でもあります。

松江は、暑かったーが、県民会館はもつと熱かった。一六〇〇人超という参加者の多さは、こういう類の大会への参加が、ほとんど皆無の私にとつては、正直驚きだった。

大会テーマ「縁を結び 絆を育む」PTAから拡がる輪 だんだん！ のもと、開会式が始まりました。

午前の部は、香川奈緒美先生の、「聞く力の種」～家庭内のコミュニケーションを考える～という演題のもと、公演が行われ、コミュニケーションとは気づきであり、家庭では、子供が何を聞いてほしいかを理解し、話しやすい環境をつくるのが、大切だと思えました。

午後の部は、高校生による発表が行われ、各学校とも、すばらしい演技を披露されていました。特に浜田商業高等学校郷土芸能部の石見神楽は、高校生でここまで出来るのかと思わせる演技で、神楽というものに、興味の無い私でも、引き込まれてしまいました。地元には伝わる伝承芸能を残し、

後世に伝えていこうとする、姿勢に大変感銘を受けました。

まだ呂智高等学校が、存続していた頃、インドネシアバリ島から留学生を毎年受け入れておられ、その留学生がバリ島の民族舞踊を当たり前のように、踊る姿をみて、日本人の高校生にそんな事が出来るのかと、思っていました。この神楽を見て日本の高校生もやるな！と思えました。

そして各県の研究発表があり、どの学校も、熱心な取り組みが伝わってきました。

中でも、隠岐島前高等学校の高校魅力化プロジェクトへの取り組みは、少子化による人口減、生徒数減の島根中央高等学校、それを取り巻く周りの市町村にとつて、大変興味深く耳を傾けました。高校を卒業し、大学・専門学校を卒業しても、仕事がないから、帰らない、ではなく、仕事を作りに帰りたいと思わせる気持ちを持つ教育をしてゆく、そういう試みを行行政PTA、教員、町民が一体となつて行い、業績を上げていることはすばらしいと思えました。

最後に、大会に参加させて頂き(まさかこういう原稿を書くことになるうとは、思いもよりませんでした)色々な事を学ばせてもらいありがとうございます。



本会場入り口前で



会場内の様子

PTA副会長 岩崎 優子

七月十二日 第五十五回中国・四国高等学校PTA連合会大会が、松江市の島根県民会館で開催されました。今年度は、九年振りに島根県での開催であり、本校PTAから十五名で参加しました。今年の大会テーマは、「縁を結び絆を育む」PTAを拡がる輪だんだん！で、高校生による発表、徳島・愛媛・島根の代表校による実践発表、島根大学講師香川先生の講演の3部構成で行われました。

まず、香川先生の講演では、「聞く力の種」～家庭内のコミュニケーションを考える～と題して、コミュニケーション不足が問題となつている昨今、日々の生活の中でのコミュニケーションの取り方等例題を交えてわかり易く講演頂きました。

午後からは、県内三校の高校生による発表が行われ、出雲農林高校からは、太鼓部。大社高校からは、ダンス同好会のパフォーマンス、浜田商業高校からは、郷土芸能部による石見神楽「大蛇」の演目、会場の一六〇〇名余りの参加者を魅了し、県外からの参加者の方は、カメラで撮影したり、拍手喝采で大変盛り上がりしました。

第三部は、徳島・愛媛・島根のPTAから実践発表されました。まず、徳島からは、学校教育とPTAをテーマとして、普通科高校におけるキャリア教育と題して発表され、キャリア教育という言葉が少しづつ一般化され、その重要性も認識されてきている中、PTAとして既存の進路座談会をリニューアルする取り組みを行い、参加者に直近の進学者だけでなく、その先の一般社会を知る上で就職を控えた大学生や社会人、卒業生の保護者等、子どもがこの先社会へ出る準備段階のうちに、働くことの意味について自分なりに考え、将来を見据えた職業観を養うことが重要であり、PTA活動をとおして子どもへの自己実現にとつて、成長段階に応じた情報の提供、教育環境の整備にも目を向けながら発展的に変化させていく取組みの必要性を発表されました。

次に、家庭教育とPTAというテーマで、愛媛の松山工業高校より地域産業担い手育成事業をとおしてと題して発表が行われ、学校と地域産業界が連携を密にし、企業ニーズを明確にするとともに、企業ニーズを踏まえた専門的な技術を習得するための実践的な取組みを行い、地域企業で活躍できる人材の育成を行う事業をとおしてPTA活動の一環として保護者対象の企業見学を行い、企業の様子や卒業生の仕事ぶりを見ることで、子どもの進路選択の参考になり、家庭の中で進路について話し合うきっかけ作りにもなったとの事で、子どもたちの学びと企業の繋がりを理解することで、より協力的な活動ができるようになったと発表されました。



講演の様子(島根大 香川奈緒美氏)

石見神楽 迫力の舞(大蛇) 浜田商高

終わりに、この研修に参加する機会を頂き、他のPTA活動の実践発表を聴くことができ、今後の活動の推進していく上で、参考に出来るヒントをもらえたように思いました。これから、いろんな行事をとおして活発なPTA活動に取り組んでいきたいと思っております。

## 地区PTAを

開催いたします

平成二十五年度は、昨年までとは違い、川本地区のみの開催となります。

その他地区は協議の結果、開催しないことになりました。

### ■川本地区PTA

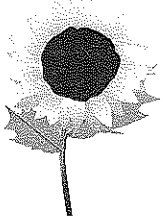
- ・期日 七月二十六日(金)
- ・時間 午後六時三十分から  
午後八時三十分まで
- ・場所 島根中央高校 会議室

## PTA文化祭バザー

役員会副長の  
お知らせ

次のとおり、PTA文化祭バザーの準備に関する会議をおこないますので、お知らせいたします。詳しくは事前にお子様を通じてご連絡いたします。

- ・第一回役員会：八月八日(木)  
午後七時から(学校応接室)
- ・第二回役員会：八月二十九日(木)  
午後七時から(学校応接室)



## 学園祭に

ついて

お知らせ

### 文化祭一日目

文化祭一日目：八月二十一日(土)  
(学校体育館)

- ① オープニングセレモニー
- ② 吹奏楽部コンサート
- ③ 神楽公演
- ④ 江川太鼓公演
- ⑤ ショータイム

※PTA文化祭バザー食材買出しおよび仕込み

### 文化祭二日目

文化祭二日目：九月一日(日)  
(悠色ふるさと会館・学校体育館)

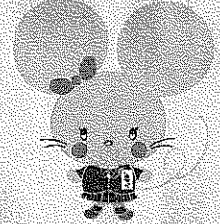
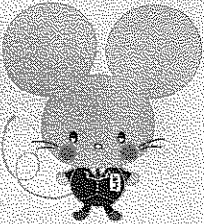
- ① オープニングセレモニー
- ② 「kotonoha」コンサート
- ③ 合唱コンクール
- ④ PTA文化祭バザー  
(各種食事の販売)
- ⑤ ショータイム(学校体育館)

### 本言葉

・体育祭：九月二日(月)  
雨天順延

- ① 午前競技
  - ② 応援合戦
  - ③ 午後競技
  - ④ 各種表彰
- (競技・応援・衣装・デコ・総合)

# PTAだよりの「愛称名」を募集いたします



現在、島根中央高校PTA広報委員会では、ひろく皆様から「PTAだより」の愛称名を募集しているところです。  
これは、生徒が健やかに成長してくれることへの願いや親しみもこめてお考えいただきたいと思っております。ふるって、ご応募をお願いいたします。

島根中央高等学校PTA会長  
島根中央高等学校PTA広報委員会委員長  
島根県立島根中央高等学校

- 1 応募資格 本校生徒、保護者および本校職員
- 2 愛称名
  - ・生徒の健やかな育ちへの願いや地域の特色などを表す言葉
  - ・文字は漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットで表記してください。字数の制限はありませんが、長すぎないようにお願いいたします。(文字デザインは広報委員会でおこないます)
- 3 募集期間 平成25年7月26日(金)～平成25年9月30日(月)
- 4 応募方法 別紙の「愛称名応募票」に必要事項を記入し、お子様を通じて担任の先生へお渡しください。
- 5 選考方法 PTA広報委員会で候補を選出し、PTAと学校で選定いたします。なお、愛称決定後、その名称をPTAだよりに使用する予定です。

## 編集後記

今年梅雨があつという間に明け、夏がやってきました。連日三十度を超える猛暑が続いています。体調に十分気をつけてこの夏を乗り切りたいものです。

さて、広報委員会では、昨年から、できる限り皆様にPTAの活動を御理解していただきたいという思いをこめて、年三回、PTAだよりを発行することになりました。より充実した紙面になるように、工夫していきたいと思っております。今後とも御理解のうえ、御協力をお願いいたします。なお、今回お忙しいところ寄稿していただいた皆様、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

(広報委員会副委員長)

